

=====
ふくしま

2017. 7. 6

復興支援フォーラムニュース No. 115

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

<第113回 ふくしま復興支援フォーラム> (2017.07.06)

農村における再生可能エネルギーの可能性と市民・地域フォーラムの意義 佐々木健洋 (福島県農民連)

(1) 太陽光発電事業の取り組み

◇福島県の農民連について

◇ドイツ倫理委員会報告 — 2022年までに脱原発を決断

*再生可能エネルギーに取り組むことは大きなチャンス

*ドイツは市民・農民が再生可能エネルギー発電量の半数を所有

◇「福島県りょうぜん市民共同発電所」

*「福島と20年間関わるために私と孫の名前で出資しました」

*2号機 郡山市「あたままち市民共同発電所」

◇ミドルクラス太陽光発電所計画

*自分たちの電気は自分たちで作る

◇FITを利用した市民発電所の普及

*市民・地域企業が取り組むことで意識、お金の流れに変化を

*自治体への働きかけ、地域作りの柱に位置付ける

(2) 国内有数の資源—山林の活用「裏山を油田に変えよう」

◇福島県の71%が森林

*日本の山の木は何に使われてきたか

◇先進国の森林面積率

*先進国の人口百万人当たりの薪生産量

*ヨーロッパの再生可能エネルギー 半分が木

*ヨーロッパで再生可能エネルギーの比率が高い上位3国

*森林の路網整備が鍵

(3) ポスターセッション交流

(4) 懇親会

2日目 2017年11月3日 (金・祝)

<分科会>午前 (9:30~12:00)・午後 (13:00~15:30)

(1) 農村における再生可能エネルギーの可能性

(2) 地域新電力のつくり方

(3) 里山資源を活かす小規模木質ガス化発電・熱利用

(4) 生協と再生可能エネルギー

(5) このほかにも検討中

<クロージング>午後 (15:30~16:30)

(1) アピール採択

3日目 2017年11月4日 (土)

<エクスカージョン>

コースA：土湯温泉の小電力、地熱発電の見学

コースB：飯館村をめぐる再エネと除染の実態を見る



第112回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

2017年6月16日、福島市・A0Z で、第112 回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

高橋真一氏 (NPO花見山を守る会代表) から、「花見山を守る活動と避難者救援」と、題して報告をしていただきました。市民20名が参加し、熱心な質疑討議がなされましたが、会場で文章で提出いただいたご意見・ご感想は、以下の通りでした。参考にしてください。



- ★ 花見山を守る会として、復興支援活動を多岐に渡ってされていることに感服しました。(S.S)
- ★ 阿部一郎さんの花見山公園は、大変有名ですが、花見山は、全体がとても美しいと感じていました。今日の話で、その理由がわかりました。今後に期待。(Y.A)
- ★ 花見山の成り立ちや運営の状況が、これまで思っていたものと違って興味深かった。高橋代表の強い思い、継続的な活動に頭が下がる。これからも頑張ってください。(S.Y)
- ★ 花見山がきれいな花が一面となり、広がっている。それを支えている内容・努力がわかりました。継続したボランティア活動の力の蓄積は大きいものですね。(M.S)
- ★ 民間で避難者支援をされた活動の素晴らしいのにおどろきました。「なかなか真実は聞けない」という言葉が印象深かったです。(I.O)
- ★ 本当は行政がやらねばならないことを、個人でサポートしている姿に心打たれました。(A.K)

★ ずっとお会いしたかった高橋さんのお話を聞いて、その活動について知ることができました。ありがとうございます。全て、今日の前にある問題に対して、自分のできることを全力で行っている姿勢はとてもマネのできるものではありません。(H.S)

★ ①#112回フォーラム開催して頂き有難うございます。②3.11震災前夜から各種ボランティアされており、素晴らしいと思います。③個人 or 単独での要望発信をなるべく多勢の意思がまとまり、「声」を発信出来たら素晴らしい。④ホテルが生存しているとの事一名所に出来たらいいですね。(T.S)

★ お話を伺い、共感することばかりでした。そのあたたかなお気持ち、行動力、続けていく努力、ひとつひとつに心から敬意を表します。本当に素敵です。福島の誇りを、これから一緒に守って行けたらと思います。ありがとうございました。(M.M)

◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第112回ふくしま復興支援フォーラム(6月16日)の会場で、カンパ3800円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【会計報告】(2017.6.16現在)

「収入」

2017.5.18まで累計	52,056円	(第2期(2016.10.27～)繰越 7,106円)
会場カンパ(2017.6.16)	3,800円	
計	55,856円	

「支出」

2017.5.18(会場費113まで)累計	35,420円
2017.6.16(会場費114)	2,400円
計	37,820円

「残金(現在高)」2017.6.16 18,036円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【予告】

第114回「ふくしま復興支援フォーラム」

日時 2017年8月3日(木) 18時30分～20時30分

テーマ 「なぜ不安は消えないのかー脳神経科学から見た福島原発事故」

報告者 伊藤 浩志 氏(脳神経科学者)

【プロフィール】

元時事通信社記者。東京大学大学院博士課程修了。ストレス研究で博士号取得。専門は脳神経科学、リスク論。科学技術社会論。

著書に近刊『復興ストレスー失われゆく被災の言葉』(彩流社)。福島市在住。

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)

*入場無料、予約不要